

型番 AT45422L・AT45423L・GT46680L

お客様へ コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。

保存用**【安全上の注意】****警 告**この表示を無視して誤った取り扱いをすると
死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お客様ご相談窓口のご案内	
修理・お手入れ・お取り扱い・工事などのご相談は、まずお買い求めの販売店・工事店へご依頼ください。 (ご贈答品やご転居などでお買い求めの販売店・工事店へご依頼になれない場合は型番をご確認の上、下記へご連絡ください。)	
製品・お取り扱いなどのご相談は	
お客様相談室	修理・アフターサービスのお問い合わせは
ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 0570-055123 受付時間：9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)	サービスセンター ナビダイヤル (全国共通番号) 電話 0570-015123 FAX 0570-025123 受付時間：9:00～17:30 (土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏季休暇を除く)
●ご注意：所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。(2018年4月現在)	
愛情点検	★長年ご使用の照明器具の点検を！
	<p>ご使用の際 このような 症状は ありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても、時々点灯しないときがある。 ●プラグ、コード、本体を動かすと点滅する。 ●プラグ、コード、本体などが異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●コードに傷や傷みが見られる。 ●グローブ、セードなどにひびが見られる。
 安全に関するご注意	<p>●調光器具及び関連機器には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行しています。 点検・交換をおすすめします。(周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯の場合)</p> <p>●周囲温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。</p> <p>●3年に1回は、工事店などの専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。</p>

コイズミ照明器具 保証書	
<保証について>	
※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。	
<アフターサービスについて>	
1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。	
2. 保証期間は製品お買い上げより1年間です。但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。	
3. ランプ(LED電球含む)・クロ一灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。	
4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。	
5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。	
(1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷	
(2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷	
(3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷	
(4) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷	
(5) 施工上の不備に起因する故障や不具合	
(6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷	
(7) 保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合	
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。	
7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。	
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 安定器・LED電源・モジュール:3年間	
お買上年月日	
お客様	お名前 ご住所 電話 ()
取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	

 厳守	器具の組み立ては、説明書に従い確実に行なってください。→器具の組み立てに不備があると火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になります。	 禁止	ぬれた手で差込プラグを触らないでください。 →感電の原因になります。
 禁止	不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使用しないでください。→火災・転倒・落下によるけがの原因になります。	  	電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだり、踏んだりしないでください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。	 厳守	電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線など)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修理を依頼してください。→そのまま使用しますと、火災・感電の原因になります。
 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込んでください。→感電・故障の原因になります。	 厳守	長時間使用しない場合は差込プラグを抜いてください。→長期間の外出やご旅行のときは安全のため、コンセントから抜いてください。
 禁止	器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。	 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、差込プラグを抜いてください。→放置しますと火災・感電の原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
 接触禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	 禁止	差込プラグを抜くときは必ず差込プラグを持つて抜いてください。→電源コードが損傷し、火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	この器具は防水です。湿気の多い場所や屋外では使用できません。→火災・感電の原因になります。	 厳守	器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。	 厳守	表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
 点灯	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外では使用しないでください。→火災・感電の原因になります。	 厳守	照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

■定格

型番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AT45422L・GT46680L	AC100V	0.18A	16.6W	LED
AT45423L		0.10A	8.2W	

■使用前の確認

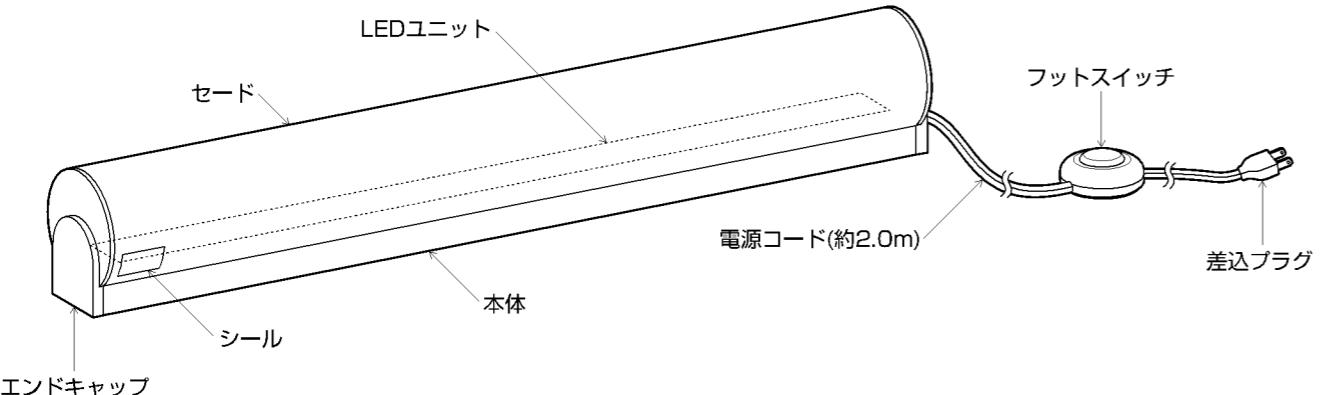
設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 倒れないよう安定した場所で使用する。

■使用手順 △注意 組み立ての際は必ず差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

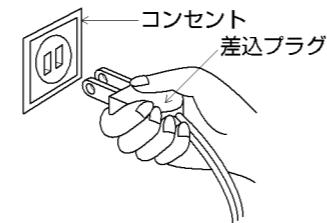
※この図は一部抽象化した共通部品図です。

※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 差込プラグを接続する

コンセントに差込プラグを差し込む。



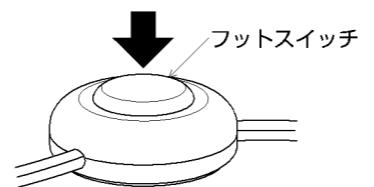
2 点灯の確認を行なう

■点灯順序

- フットスイッチを軽く足で押してください。

※フットスイッチを強く踏んだり、重いものを載せないでください。破損の原因になります。

点灯 ↔ 消灯



■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯後に器具構成材料の熱伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

■LEDユニットについて

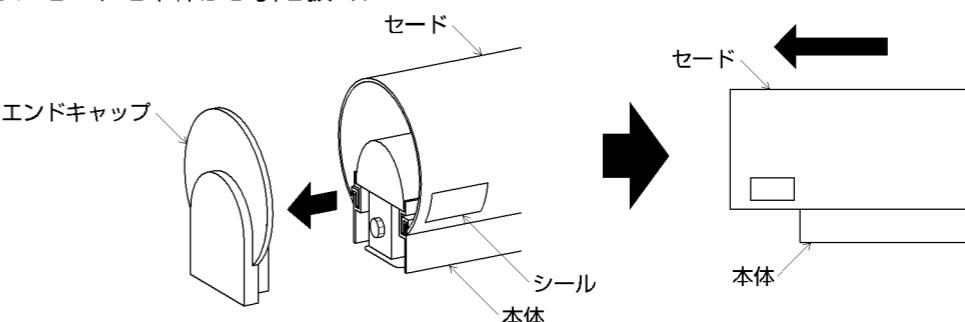
- 明るさが70%になるまで平均約40000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。

■セードの取外し方 △注意 セードの取外しの際は安全のため差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

1 差込プラグを抜く

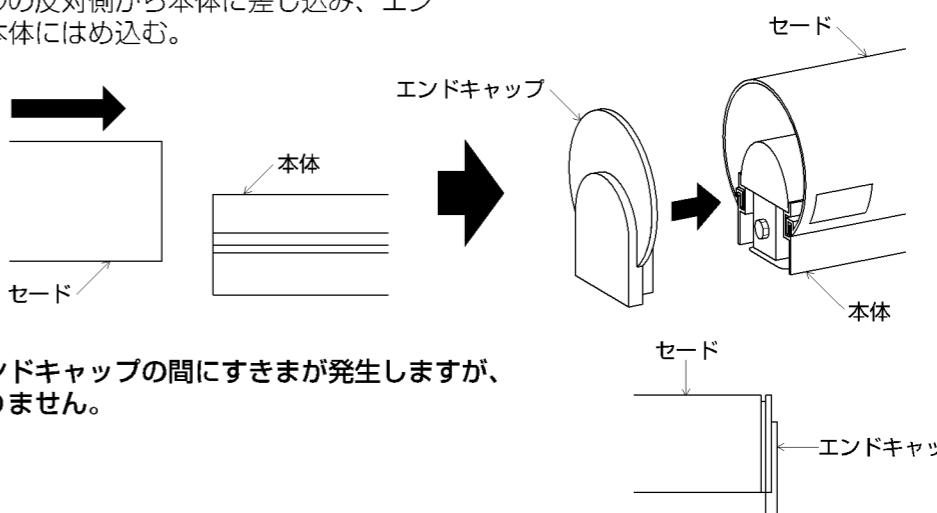
2 セードを取り外す

セードのシール側のエンドキャップを本体より取外し、セードを本体から引き抜く。



3 セードを取り付ける

セードをシールの反対側から本体に差し込み、エンドキャップを本体にはめ込む。



※セードとエンドキャップの間にすきまが発生しますが、異常ではありません。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

△警告 器具を水洗いしないでください。火災・感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。